

味酒地区タウンミーティング(要約)

平成26年1月25日(土曜日)

【市長】 皆様おはようございます。今日は土曜日です。この時間帯ですので、おくつろぎの方もいらっしゃるかと思いますけども、このように多数の方が参加いただきまして、ありがとうございます。この味酒地区のタウンミーティングの開催にあたりましては、味酒地区広報委員会の会長をはじめ、役員の皆様方のお力添えをいただきました。ありがとうございます。このタウンミーティングですけども、私が就任以来始めさせていただきました。それはなぜかという、松山市はもともとの松山市と旧北条市と旧の中島町と合わせて41地区に分かれます。それぞれの地区ごとに魅力もあり、課題もあり、問題点もあり、お困りの点もありというところだと思いますけども、それを松山市役所で待っているのではなくて、我々から各地区にそれぞれ出向かせていただいて、そして皆様の声を聞かせていただこう。そして、できることからすぐさま市政に反映していこう。そういった思いで始めさせていただきました。例えば、やりっぱなし、聞きっぱなしにしたら、そんなタウンミーティングは楽だったかもしれません。でも、私はそれをいたしません。聞きっぱなしにはしない、やりっぱなしにはしないというのと、今回の味酒のタウンミーティングもそうですけども、ここで答えできる事柄は、できるだけここで答えをして帰りまして、例えば国と絡む案件とか県と絡む案件とか財政的な問題があるもの、そういったものはいったん持ち帰らせていただいて、必ず1カ月を目途に味酒の方にお答えをお返しします。聞きっぱなしにはしない、やりっぱなしにはしないタウンミーティングでございます。いわゆるガス抜きとかパフォーマンスでやっていたんだったら、1巡で終わっていたと思うんですけど、私は皆さんの声をできるだけ誠実に耳を傾けさせていただいて、誠実に取り組んでいく形をやりたいので、2巡目に入らせていただいているところです。今日もさまざま皆さんから、せつかく地区ごとでやっておりますので、味酒地区のお困りの点とか課題とか、逆に魅力などを教えていただいたらと思います。今日はご覧のように味酒小学校の児童さんたちも来られていますので、やはり肩ひじ張っていると疲れてしまうと思いますから、ざっくばらんに、前向きな話ができればと思っております。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【小学生】 私たちは味酒小学校の代表で来ました。よろしく願いします。野志市長さん、私たち味酒小学校のためにいろいろ設備を整えてくださり、ありがとうございます。去年は宮前川沿いの歩道を整備していただ

き、新しく安全な通学路に生まれ変わりました。特に楽しみにしているのが、味酒小学校の中へ安全に下りられる歩道橋の完成です。今、味酒小学校全体で歩道橋の名前を考えているところです。私たち6年生は、卒業までに歩道橋を歩きたいという思いで心待ちにしています。こんなによくなっている味酒小学校ですが、もっとよくなったらいいなと願っていることがあります。転校してきた友達や部活動をしている友達からは、味酒小学校の運動場は水たまりだらけだなという声をよく聞きます。この写真を見てください。これは12月19日に撮影した、味酒小学校の運動場の様子です。この日は、松山は朝まで雨が降っていましたが、午後から雨はやみました。それでも水はけが悪く、まだたくさんの水たまりが残っています。翌日12月20日、とてもいい天気になったのですが、これが運動場の様子です。晴れているにもかかわらず、水たまりが残っていて一日中運動場を使うことができませんでした。そこで野志市長さんにお願ひがあります。外で元気に遊びたい私たちのために、雨の降った後でもすぐに使える運動場をお願いします。味酒小学校は1,000人近い子どもがいます。校舎の中はたくさんの人であふれています。晴れているときは運動場で遊べるようにしてください。学級数が多いため、順番に体育館を使うように工夫していますが、体育館の使用時間も限られています。運動場での体育ができないと、大好きな体育の授業も減ってしまいます。運動場にたくさんの味酒っ子の笑顔と歓声があふれるよう、どうか水はけのよい運動場になおしてください。野志市長さん、この願ひが叶うようよろしく願ひします。今日は、私たちの話を聞いてくださってありがとうございました。

【市長】 こちらこそ、どういたしまして。まず私からお礼を申し上げたいと思います。子どもたちが最初に言ってくれた川沿いの歩道の整備ですけども、報道で見させていただいて、これは立派にできたなということで、後日行かせてもらいました。本当に川沿いにきれいな歩道ができておりました。これは地元の方のご協力もいただいでできた案件でありますので、松山市だけがやったことではないので、逆にこちらからお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。私も全部のことは把握することはできませんので、皆さんのご要望に対してはできるだけ親切に、できるだけ早くにと就任以来申し上げておりますので、それが浸透してきていると思っています。喜んでいただけたら幸いです。味酒小学校のことは、具体的な案件になりますので、津田企画官願ひします。

【生涯学習政策課長】 教育委員会生涯学習政策課の津田と申します。まず小学生の皆さん、すばらしいプレゼンテーションだったと思います。あ

りがとうございました。味酒小学校のグラウンドですが、おそらく味酒は創立130年近くなる学校だと思います。かれこれ古い学校です。こういう学校は、なかなか水はけが悪いのが現状であります。最近の学校は、グラウンドを造成する前に排水路設備を入れておりますので、新しい学校になればなるほど、水はけはよくなっている状況です。対応策として考えられますのが、でこぼこがどうしてもありますので、それを圧着するというんですけれども、ローラーで押し込んで真っ平にしていく方法が考えられます。いずれにいたしましても、まず耐震化が学校の管理をしていく上では大切です。皆さんが日ごろ授業している校舎が、地震によって倒れるのは一番危ないと考えていますので、味酒も26、27年ぐらいいかけて耐震化を図りますので、そのときにグラウンドにおいても、どういう工法がとれるか研究させてもらいたいと思います。今、この場でこういう形ができるっていうのはお約束できませんけど、来年度、再来年度にかけて、何らかのできる手法を考えてまいりますので、よろしく願いいたします。本当にありがとうございました。

【男性】 おはようございます。私、愛光町から参りました。どうぞ、よろしく願いいたします。先ほど小学生の皆さんが先に言っていただいた、宮前川の通学路に関して。私ども愛光町と美沢町近隣の皆様が、長年にわたり、何とか安全に子どもたちの通学路と地域住民の皆さんの生活道としての工事ができないかと、関係者皆様をお願いをいたしまして、25年度4月1日早々に立派な歩道をつくっていただいたことに関しまして、改めてお礼を申し上げます。本当に関係者の皆さんありがとうございました。それでは、次に私たちの要望でございます。私たちの町内には愛光町に平成15年に愛光公園という立派な施設を市からつくっていただいたわけです。当初は田畑が公園を囲む場所でございます。子どもたちがのびのびと野球なりサッカーという、本当はやっぱりいけないこともののびのびとやっておりましたが、近年、住宅地が密集をしまして、サッカーボールとか野球ボールが宅地の中また駐車場に飛び込むという苦情もございまして、本来はどこの公園も野球とサッカーはだめですよという看板がついてるわけです。私ども公園管理者といたしましても、付近の皆さんの苦情と子どもたちがそしたらどこで遊ぶということを言われまして、私らもどうしたらいいものかということで、公園緑地課の担当者にご相談をしまして、今現在3メートルのフェンスがついておるわけなんですけれども、これを5メートル、6メートルにネットを張っていただくという要望もしました。子どもたちがのびのびとお父さんとお母さんと、また近隣の親御さんが集まれる公園にしたいと相談をしまして、何とか前向きにお話をしてい

ただけるようになってるようでございます。私どもの公園のみならず全体に、子どもたちが公園でのびのびとかけっこ、野球遊びができる公園づくりを市長さんにもぜひお願いをして、市長さんもそういう親子でキャッチボールのできる公園づくりに意欲を燃やしておるとお聞きをしておりますので、ぜひこれを次年度早々でも結構でございます。少しでもそういう方向にさせていただくよう、重ねてお願いを申し上げまして私の要望といたします。ありがとうございました。

【市長】 愛光公園の件は私まで報告が上がっております。ありがたいのは、松山市内に色んな大きさの公園がありますけれども、愛光公園のような比較的住宅街の中にある公園は付近にお住まいの方がいらっしゃいますので、なかなか理解が得られないところですが、公園は公園管理協力会という方々が管理してくださっているんです。地元の公園管理協力会の方々と松山市役所が協議をさせていただいて、前向きに話を進めている環境にあると思っています。実現に向けて努力をさせていただきますので、また今後ともご協力のほどよろしくお願いたします。今、平成18年から松山市役所ではボール遊びのできる公園づくりを進めておまして、大体1年に1カ所のペースです。平成18年度には松山市平井の平井公園、平成19年度には旧の北条市の河野別府にある文化の森、平成20年度には中野町の中野公園、平成21年度はここに比較的近い久万ノ台の久万ノ台緑地、平成22年度には堀江の堀江中央公園、平成23年度には小坂の福音公園、平成24年度には白水台の白水台北公園、平成25年度には古川公園と、大体1年に1カ所ぐらいのペースで、地元の方のご協力をいただきながらボール遊びのできる公園をこれからもつくっていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。松山市役所は市長へ直接意見が届く制度を設けています。その中で来ていた意見ですが、ある公園のそばに住んでいる中学生か高校生の女の子からメールが来てまして、うちは公園のそばに住んでいるんですけど、ボール遊びをする子がいてボールがうちの家に飛び込んでくるんです。全く断りなしに家に入ってくるんです。ボールが入ってくるのも困るなと思っているし、勝手に入ってこられるのも困るなと思っているんです。何とかしてくれませんかというメールがいくつかあるんですね。ですので、ボール遊びのできる公園づくりは周辺の方々のご理解をいただきながら進めていかなければならないと思っていますので、やっぱり何でもマナーが大事だと思いますので、ここにいらっしゃる皆さんは大丈夫だと思いますけれども、そういう声をクリアしながら地元の方と一緒に動いて、そういう公園を増やしていきたいと思っていますので、これからもよろしくお願いたします。

【男性】 萱町六丁目東町内会でございます。よろしくお願ひいたします。前回は発言をさせていただきまして、前回は自主防災会に伴う町内会加入率の低下ということでお話をさせていただきまして、先ほども市長から経過報告等していただきました。ありがとうございます。ただ、ほかの地区のタウンミーティングの分を閲覧しますと、先ほどもありましたけれども、加入は任意だということで、多分無理だろうと閲覧をしますと、町内会の会費とか町内会加入のことはだんだん触れられなくなってきた。私は危機感を持っているんですけれども、町内会の加入率が落ちることは、基盤になっている町内会の会費とかで負担金あるいは募金、色んなものを捻出しているのが現状でございます。前回は分譲マンションのことをお伝えしたんですけれども、検討はしていただけるご回答もあったんですけれども、何を検討するのか、具体的に何をしていかないといけないのか。その中で、任意だと前面に出されてしまったら、何も進まないんじゃないかなってというのが、我々町内会長としての部分です。各地域によっては、全く違ってくると思います。私の提案ですけれども、既存の部分と今住んでらっしゃる方は、なかなか難しい部分があると思うんですけれども、仮に分譲マンションが新築する場合、専門的になってしまうんですけれども、建築確認申請を出すときに、近隣の電波障害はその施主がちゃんと責任を持ちなさいという念書を書かされるみたいですね。これは法律でも何でもない任意的な市役所の許可をする側が、そういう書類を添付しなさいっていうものがあるわけですね。ということは、町内会に対して一番大きな二つの問題で、町内会の加入と皆さん言っているごみの問題も、事前に町内会や地元の規則的なものをきっちり把握、説明ができるのじゃないか、色んなことを具体的に検討していただかないと、多分加入率はどんどん落ちて、4月から広報委員制度が3月で終わって、味酒は町内会連合会という形に進みますけれども、ちょうどそんなことがきっかけで、うまくできることが何かないかなということ、ぜひご検討いただきたいと思うのと、12月と1月に広報委員会の席で、今の実情を提出してくださいということがございました。この数字を上げたときの目的も聞かせていただければと思います。大きな話になってしまうかもしれないですけど、何かを始めないと町内会の加入率は落ちてくると私は思っているんで、どうぞご検討よろしくお願ひいたします。

【市民部長】 市民部の吉野と申します。よろしくお願ひいたします。ご質問ありがとうございます。まず、このたびの町内会加入現状調査ですけれども、平成18年度以降は行っておりませんでした。その調査を8年ぶりに行うものです。コミュニティの基礎単位であります町内会の活動が、

ずっと停滞することによりまして、住民の皆さんの自治意識の低下を招かないように、調査結果を踏まえまして、町内会の加入促進に向けた啓発を行っていく予定で、現在の各町内会等に情報提供を依頼しまして、加入率や連絡先などの基礎的な情報を把握するために調査するものでございます。ご質問にありました具体的な取り組みでございますけれども、この調査結果を踏まえた上で、例えば全市的に加入促進のパンフレットを配布するとか、町内会の加入率が比較的高い地区の取り組みを皆さんにご紹介するとか、それを低い地区にノウハウとしてご紹介するとか、個人や町内会の相談を市民参画まちづくり課でお伺いすることで、おっしゃられました分譲マンションの問題等も含めまして、検討したいと思っております。まずは、市全体の状況把握に努めまして、得られた情報をもとに、最も効率的な方法や活動の方針等を検討したいと考えておりますので、ご理解賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

【男性】 部長どうもありがとうございます。ただ、各地域によって全く違うと思っております。松山のブロック別に分けてお考えになったほうがいいと思っております。ここ味酒だったら第4ブロックです。第4ブロックだと大体同じ生活環境かと思っておりますので、ブロック別に集計を出したほうが、加入率は間違いなく個人の戸建の多い地区は高いと想定しております。よろしくお願ひいたします。

【市民部長】 了解いたしました。そのように処理させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

【市長】 貴重なご意見ありがとうございます。

【男性】 宮西三丁目の町内会長です。よろしくお願ひします。防災で2点お伺いしたいんですけど、味酒地区は愛光学園、朝美保育園、小学校、公民館と避難所がございます。今、津波でいろいろ対策されていると思うんですけど、衣山の高台から愛光学園の低いところへ実際逃げる勇気のある方いらっしゃるのか。衣山の方は愛光学園に避難訓練で行かれていますけど、実際に低いところへ、また低いところへ降りようとしたときに、波が見えたら余計に行きにくい。もう一つ、万が一津波が来て体育館がぬれた。そのぬれたところにわざわざ避難しに行くのか。困るのは味酒地区で衣山の人口かなり多いです。その中であっち逃げれないな、味酒小学校に行こうか。まだ防災であまりきちんと町別に色分けされておられませんけど、だんだんと我々色分けをできるようになったときに、衣山の方が来られたときに味酒小学校満杯になって、使えない教室まで開放しろとか言わざるをえなくなるんじゃないか。また公民館にしても。その際にどこかもう少し増やすのか、それともぬれたらブルーシートをいっぱい用意して対処を

するということになるのか。今後、避難所に関して、大概政府でいろいろと変更があろうかと思えます。そして2、3年後には市でその変更に合わせて、いろいろ変更されると思うんですけど、下に逃げることも想定に入れていただいて、その中で次どうしたらいいのかも考えていただいた中で防災マップをつくっていただければと思います。もう1点、この地区でどこに逃げて何が必要かとか、いろいろ味酒地区でマニュアルができたとして、その際にそのマニュアルは町内会連合会とかがつくるようになるかと思えます。マンションの方は入ってきていないでしょうから、マンションに関しては地震が起きるとライフラインがとまりますよね。その際にトイレも水がないからできない。毎回エレベーターが使えないから歩いて行かなければいけない。そうすると、どうしても避難所に来られるでしょう。その際、一切話し合っていないメンバーが、急に何も知らないで入ってくるという現状になろうかと思えます。例えばマンションにも呼びかけて入ってくださいと市から言っていただけなのか。当然、我々がマンションに入りなさいとはよう言いませんし、そういう形の検討会をつくれるのか、この2点をご検討いただいたらと思うんですけど。

【消防局総務課長】 消防局の中矢と申します。防災に関する質問どうもありがとうございます。2点いただいたと思えます。まず1点、避難所の件ですけれども、現在、松山市が地域防災計画の見直しを行っております。東日本大震災もございました。南海トラフの巨大地震も危惧をされております。そのようなことを踏まえまして今、地域防災計画を見直しております。その中で避難所も見直しを図っております。防災マップも来年度新たなものを作成するようになっております。その貴重なご意見を参考にさせていただいて、見直した避難所も新たな防災マップに反映させたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。それともう1点のマンションの方の避難所のことでございますけれども、マンションの方、町内会とはまた別なのですが、自主防災組織にはマンションの方も加入をされております。

【男性】 入ってない。町内会と連動していますから自主防災会も町内会もイコールなんで、前回のタウンミーティングのときに言ったんですけども、完全に自主防災会と町内会は同じだと思ってください。それは自主防災会の味酒の会で、私はいつも言っています。絶えず言っています。解決はしていません。

【消防局総務課長】 かしこまりました。自主防災の担当がおりますので、味酒地区からマンションの方の避難所の問題について、ご質問が出たということを持ち帰らせていただいて、避難所運営も、確かにご質問のとおり

避難所は味酒地区いろいろとございますけども、メインが味酒小学校になると思います。味酒小学校は、味酒地区の方が多分ご利用すると思うんですが、他地区の場合は避難所は近隣の地区の方が混在するようになります。同じ地区の方だけが避難所に集まるわけではないので、大規模な災害が起こった場合は避難所の中で自治会組織をつくっていただいて、その避難所の自治会で避難所運営をしていただくと。これが基本になりますので、避難所運営を大規模災害のときはやっていただくことになろうかと思うんですけども、味酒地区のマンションの方々が町内会組織に属していない、その避難所のとときにどうするかという問題も持ち帰らせていただいて、自主防災組織の担当と今後検討させていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。

【女性】 木屋町の広報委員です。私たちのブロックは平和通りを越したところからあるんですけど、皆さんここへ避難したいっていう声があるんですが、味酒は入ってないんですね。どうしてこの近くにいい場所があるのに来れないんかっていうご意見があるんですが、ここへは本当に入れないんですか。避難できないんですか。それをお答えいただきたいんです。

【消防局総務課長】 避難所はいろいろな考え方があると思うんですけども、避難所は避難所と一時避難場所、それと広域避難地と分かれるんですけども、避難所と福祉避難所とまた分かれる場合もございますので、そういうことも含めまして、ほかにもここが近いのに避難所がいいんじゃないかというご意見ございましたら私が聞いて帰りまして、今まきに見直しを行っておりますので、貴重なご意見を見直しの中に反映できたら、皆さんのご意見があったことをお伝えしたいと思いますので、どこかあったら私に色んな場所を教えていただけたらと思います。よろしくお願いたします。

【女性】 ここへ来たのに帰らされたって言われたら困るから。

【消防局総務課長】 わかりました。そのご意見私が責任を持って伝えさせていただきますので、よろしくお願いたします。

【市長】 子どもさんもいらっしゃるんで、できるだけわかりやすく説明しようと思います。海で泳いでいるときに足がつかないと不安ですよ。でも足がつくとどれぐらいの深さなんだ、例えばお腹ぐらいまでかとか肩ぐらいまでかとか足がつくと安心しますよね。津波に対しても同じだと思います。私、去年の8月に防災士の資格を取らせていただきました。勉強も事前に分厚いテキストが渡されまして、予習してくださいって言われるんですけども、9時～17時を二日間やります。ほかの都市では三日間かかるんですけども、松山市は防災士の数が全国で一番なんで、そういう経

緯があるんで、ほかの都市に比べて1日短くて二日で受けられるんですが、その9時～17時で二日間防災士の養成講習を受けて取らせていただきました。新しくつくったんですが、今、沿岸部では標高表示板といいまして、ここは何メートルですという高さ表示を地元の方と一緒にやらせていただいています。そして皆さんの家でも見られるように標高マップシステムをつくりまして、皆さんの家でインターネットが見られるようだったら、全部ここが何メートルというのがわかります。例えば愛光高校のそばに軽井沢団地があるんですけども、48.5メートルって出ています。私も防災士の資格を取るときに勉強させていただいたんですが、皆さん東日本大震災の強烈な映像をご覧になったので、どこまで津波がくるのかを心配されていると思いますが、中矢課長、愛光学園の西側あたりだと、どの辺ぐらいまで津波が到達すると考えられているんですか。

【消防局総務課長】 愛光・衣山あたりには今の想定では津波は到達しないという想定になっています。県・国が千年に1度の色んな悪条件を重ねあわせた上で津波想定を出しておりますけども、軽井沢団地あたりには今現在の想定では浸水しない、津波は到達しないという想定になっております。

【市長】 はい、これはまだ皆さんに広報が足りてないな。なかなか遅いと思われるかもしれませんが、国が予想をして、それがもっと細かくということで県で予想をして、そして各市に落とし込んでいきます。市で勝手にやると、じゃあどこまで結局到達するのっていう話になるので、申しわけないですけど国・県・市っていうこの流れでやるのが一番正確のかなと思っています。できるだけ早く皆様にこの防災対策をお知らせしたいと思いますが、とりあえずは皆さん各地点で見ていただいて、何メートルかを見ていただくと一つの安心材料になると思いますので、見ていただいたらと思います。松山市の場合はおよそ2時間後で、最大の津波高が3.8メートルですかね。

【消防局総務課長】 はい、そうです。

【市長】 これは最悪の状況が重なって、はっきりしたことは言えないですけども、例えば南海トラフを震源とした地震が起こって、防波堤もそのときに全部崩壊をして、津波がきたならばどれぐらいという最悪の想定でつくったものですので、皆様には正しく恐れていただくことが大事かと思います。防災マップは皆さんのお家に全戸配布ですから基本的には新しく引っ越しされてきた方以外は家にあると思います。防災マップの1ページ開けていただいて、最初に75、19と書いているんですが、およそ8割です。松山市で何らかの災害に遭遇すると思っている人は8割いるんです。

でも、家具の固定をしている人はわずか2割しかいないんです。この8割と2割の差を埋めるために我々努力をしているところですけども、防災士の資格を取ったときに思ったんですが、例えばAEDの使い方とか棒2本と毛布1枚で担架をつくる方法ですとか、避難場所がつけられた場合にどういう割り振りをしていくとか、さまざま勉強させていただきましたけども、皆さん家具はものすごく重いものです。ものすごく揺れた場合、それに当たったり、ふさがれたりすると命の危険性もありますので、皆様方2割の人しか家具の固定をしていないという現状がありますので、どうか家具固定はしていただきますようお願いをいたします。緊急のときの安全な通路が確保できることにもつながっていきますので、正しく恐れることが大事ですので、我々もできるだけ早く被害想定を皆さんのところに出していきたいと思っておりますので、我々もしますし、皆さんもできる対策を取っていただければと思います。よろしく申し上げます。

【男性】 よろしく申し上げます。味酒区域におきましても、このたび広報委員会から町内会連合会に移行するとのことですが、ただ問題点も残っているということで、担当課で調整していただいていると聞いております。せっかくの機会ですので、なるべく多くの皆様の納得と満足のいく格好で進めていただくように、ご尽力のほうよろしくお願ひしたいと思います。

【市民部長】 市民部の吉野です。どうもご質問ありがとうございます。広報委員会から代わる町内会連合会は任意の組織ではありますが、全ての町内会に参加していただきまして、一致団結して地区内の交流や自治振興、また各種団体との連携や協力を努めていただきたいと思いますと考えております。色んな町内の調整、それぞれの町内会の調整も含めまして、市民参画まちづくり課が全て個々に足を運ばせていただいて、それぞれの話を聞いたり、皆さんが納得いただけるように調整させていただいて、皆さんがいいと思われる組織にできるように、バックアップしてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【市長】 先ほどいただいたご意見で改めて思いますのは、市長自身もできるだけ現場に出ることを心がけているんですけども、やっぱり各幹部もより現地に出向いて、防災のこともまだまだ知られてないと痛感いたしましたので、新しく早く想定を出して、各地区でここまで浸水してきますとか広報も努めていきたいと思っておりますので、貴重なご意見ありがとうございます。

【男性】 味酒小学校校長でございます。今、子どもたちが言いましたけれども、本当に歩道橋の設置ありがとうございます。設置に際しても懇切

丁寧に説明もしていただきながら完成に向けて進んでいるところで、大変感謝申し上げます。子どもたちが運動場のことを言いましたので、校長の私があれば欲しい、これが欲しいとは言いません。ただ、教育は人材、人の力が最大の教育資源だと考えております。現在、松山市、もちろん味酒小学校もですが学習アシスタント、生活支援員という方を地域から学校に来ていただいて、ものすごく教育に尽力していただいております。そして味酒小学校校区もたくさんの優秀な地域の方おいでますので、お力添えをいただいております。今、ちょうど学習アシスタントの募集等が行われているところだと思うんですけども、要望した人材をカットすることなく派遣していただければありがたいなと思っております。この学習アシスタントは、おそらく松山市が全国先駆けで行った施策じゃないかと思っております。一人一人の子どもたちを大切に教育していくために、学習アシスタントそして生活支援員の制度を充実していただければありがたいと思っております。よろしく願いいたします。

【生涯学習政策課長】 生涯学習政策課の津田でございます。今、校長先生からお話がありましたけれども、学習生活支援員というお名前で学校に配置しており、障がい等のある児童・生徒の方が同じように学校で生活を送ることができるように、色んな補助、手話通訳とか安全確保とか日本語の支援とか、そういったお仕事をお願いしております。また、学習アシスタントですが、これは授業中に基本となる学力の定着をアシスタント的な立場で、一緒に児童・生徒の勉強に取り組んでいただいている方でございます。先ほど校長先生からありましたけれども、ほとんどの学校に配置する形で大体年間の予算が3千万弱ですけれども、ご要望に応じて全ては難しいと思っておりますけれども、基本的には昨年度を下回らない要望はしておりますが、全体のバランスもありますので今年と同じ数になるかどうかはわかりませんが、また必要な数を要望していただいて、こういう人材が欲しいと学校教育課を通じて要望していただければ、それなりの段取りができようかと思っております。この事業は、松山市の教育委員会としても必要不可欠と考えております。もっと地域の方に参加していただければと思っておりますので、啓発もしていきたいと思っておりますのでご理解いただければと思っております。ありがとうございました。

【市長】 私から補足をさせていただきます。今、津田企画官から皆様にもご協力をお願い申し上げましたけれども、本当に私からも皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。実はこういう仕組みを昨年度からつくっていますというお話ですが、福祉でのお話ですけれども、負の連鎖という話がありまして、各ご家庭で経済的に恵まれないご家庭もやっぱり現実あるわ

けです。中学から高校に進学するときに、経済的にみんなが塾に行けるわけではないんです。そういう学習環境に恵まれないお子さんがいらっしゃるわけですが、そうなるとう高校への進学とか職業選択の幅がどうしても狭められるんです。これは教育とか、これは保健福祉のことですからとっていったら絶対できなかった仕組みですが、そんな縦割りみたいなことは言うとしたらあきませんよということで、教育と福祉が連携をして土曜塾という仕組みができました。これは経済的に恵まれないお子さんが、土曜塾に通ってもらったら無料で塾が受けられます。今、60歳で退職されますけれども皆さん元気です。家でのんびりされるのもいいですが、できたら力を貸していただきたいということで、中学校の校長先生の経験者の方が、土曜塾の塾長になってくださっています。そして松山には愛媛大学教育学部もあり、先生になりたいと思っている学生さんたちもいますので、そういう学生さんたちに勉強のサポーターになってもらって、中学3年とか2年の子どもたちが土曜塾で勉強をしています。昨年度はみんな高校に進学することができました。今年2年目ですが、受け入れの人数も増えて、大学生のサポーターたちも増えたから定員も増やすことができ、今日も頑張っていると思います。もうすぐ受験の季節が近づいてきましたけれども、そのように皆さんに手を貸していただくと子育ての面でも防犯の面でも介護の面でもよくなっていきます。余談ですけど、昨日、坊っちゃん劇場で「げんない」というミュージカルをやっていますが、その方たちが歌を歌っていたんですけれども、「過去は変えられない、現在もままならぬことは多い」、人間生きていたらそうです。でも未来は変えられるんです。ですから皆さんがご協力していただけることによって未来は変えられるんです。皆さんにちょっとお力を貸していただいたら、色んなことが丸くいくようになりますので、皆さんのできるご協力をしていただけたらと思います。松山は東京や大阪に比べると地味ではありますが、ものすごく素材に恵まれた伸びしろの高いところだと思っていますので、日本一のまちづくりをしようと思えばできるところだと思っていますので、それは行政だけでできるものではありませんので、皆さんの協力で成り立っていくものだと思いますので、できる協力をしていただけたらと思います。よろしくお願いします。

【男性】 私、いつも町内で老人会の会長さんともお話をするわけですが、昨今、後期高齢者が増えております。その割には高齢クラブが順々にやめていきよる状態です。どうしですかとお尋ねをすると、なかなか参加する方、お世話する方が少ないと。また行事をするにあたって役所の担当課がこれは使ったらいかん、あれは使ったらいかんという制約もあ

ったり、煩わしさがああり、難しいのでやめていくということで、先ほども言いましたが、まず一番に町内づくりは子どもが一番大事であろうと思いますし、今まで培ってきた味酒校区を支えていただいた高齢者を大事にする制度も必要であろうと思いますので、ぜひ高齢クラブの救済を何かありましたら考えていただいて、各連合会もあろうと思いますので、そういうところに投げかけていただいたらと思います。そういうことで、ひとつよろしくお願いいいたします。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課高橋です。よろしくお願いたします。高齢クラブですが、高齢クラブの補助金は国の補助金の交付要綱がありまして、それに基づいてお金を出しています。あくまでも国の制度の枠組みの中で色んな取り組みをしていただいていますので、一定の制約はあると思います。現在、各高齢クラブの活動状況とか色んな取り組みについて、高齢福祉課の職員が各地区を回っています。色んな取り組みをしていただいていますので、その新しい取り組みも、高齢福祉課から紹介をさせていただけたらと思います。

【市長】 おっしゃったことで役所の担当から何か煩わしいことがあるとかおっしゃいました？聞き間違いかな。教えてください。

【男性】 聞いた話ですけれども、各高齢クラブに補助金をいただきますよね。それでいろいろな行事をしたときに、お年寄りが和やかにお酒を飲んで集会所でやりたいという申請はまかりならんとか、お年寄りの方は私が思うに、そんなに細かく言って渋ると、どうしても煩わしくやりたくないという方が多いので、結局、近隣の町内でも2カ所ぐらいやめますという話を聞いておりますので、もうちょっと緩和をしていただいて、そんなに難しいことを言わずにお金をどんと出してあげて、今までご苦労さんという気持ちで対応していただきたい。確かに国の補助金等々もあろうと思います。制約があろうと思いますが、やっぱり今までのご苦労に免じて何でも好きにきなさいよというわけにもいきませんが、そんな気持ちで対応していただきたいと思います。

【市長】 過ぎたるは及ばざるが如しという言葉もありますが、公金というので固くなりすぎているのかな、どうですかね。

【保健福祉政策課長】 交付金要綱の中では三つの事業をしていただくことになっています。一つは社会奉仕活動、二つ目が老人教養講座開催事業、三つが健康増進事業、この三つの事業が国の補助金の対象になっています。例えば会員同士の親睦とか娯楽のみを目的とした活動、忘年会とか旅行とかは補助金の対象にならないということで、お話をさせていただいている状況でございます。

【市長】 できるだけ柔軟にできたら。全く思いつきですけど、健康講座やった後の打ち上げとか連携してやるとか。でもこれ国が審査するのか。なるほどね、その辺がやっぱりあるのかもしれませんね。我々、地方自治を担当させていただいている者からすると、市民の皆さんの目もあるし、そんな変なことしないですよ、もう地方に任せてくださいというところがあるんです。そう感じるところがあります。直接の話ではないんですが、堀之内の公園の話で言わせていただくと、私申し上げたように清水小学校、この辺の子です。この辺でよく遊んでいましたし、また中学校のときに野球してましたんで、松山市営球場で野球したこともあるんです。全く松山市営球場の名残が何にもなくなってしまう。これはあまりにもさみしい。実は戦後に松山市営球場のスタンドは、地元の方々が一緒に土を盛ってくれてできた市営球場なんです。そんなことも全く知られてなかったんで、これはあまりにもさみしいと思って、今、堀之内の公園に行っていたらピッチャーが投げるプレートとホームベースとバッターボックスを復活させているんです。モニュメントを置いているんですけども、それやるだけでも大変だったです。プレート置くのでも。文化庁の気持ちもわかるんですけども、あそこは国の史跡で、聞いているのでは史跡がまだ埋まっています。そこを保護するために土を1mぐらいかぶせているわけです。できるだけあんまり触ってほしくないわけです。気持ちはわかります。総合公園に大きくなった木があって、景観の妨げになるものは密植になると逆にいかんで、植えかえることができないかと思ひまして、総合公園で立派になっている木をこっちの堀之内の公園に持ってこれないかと考えたんですけど、ある程度の根っこの大きさもありますし、根っこが伸びていくので遺跡を壊してしまうんだそうです。それもまた具合が悪いということで、なかなか難しいところがあります。また、この堀之内に例えばスポーツ施設、スタジアムをつくってくれないかという話もあるんですけども、今まで国などとも協議をしながら計画を立ててやってきた。公園として整備しましょうと地元の方と市民の方とも一緒になってやってきた。計画をゼロに戻す形なので補助金を返還、少なくとも堀之内の場合は30億円近いお金を国に返還してからスタジアムを建設ということになるので、今までの経緯からすると極めて難しいのが現状でございます。昔は市営球場もあった、県民館もあった、テニスコートもあった、たくさんの方が来てくれたのについているのがあるんですけども、私も確かにスタジアムができればサッカーでにぎわってみんなも来やすいし、ゲームに勝っても負けてもまちに繰り出してきて、食事に行ってくれたりとか飲みに行ってくれたり、そういう経済波及効果もわかるんですけども、莫

大な費用がかかることを考えるとなかなか難しいところがございます。もちろんお金がないから思考停止になるのではなくて、知恵と工夫で、先ほど申し上げた土曜塾のように皆様のご協力をいただいて、安全な歩道とかさまざまやっていきたいと思っておりますけれども、こうやって皆様との意見交換を重ねながらやっていきたいと思っております。

【男性】 市長さんにエールを送る意味と要望が二つあります。一つは花咲か爺さんにぜひなっていたきたいです。それからもう一つは中国のことわざであります、中国の仕立屋さんは前身頃を短く切るらしいです。それは政治家の方が長くする。今、市長さんは、「はいはい」でおられますけれども、だんだんとそれが慣れてくると「うんうん」となるわけです。そうすると前がのそべって後ろが突っ張りがいるようになります。そうすると大体市長さんはだめになる。松山市もだめになる。それで今、堀之内のと言われましたけど、私もあそこはぜひ桜の名所にしていきたいと思っております。花咲か爺さんとはそういうことです。私も県外から友達が来る場合は、案内するとき道後温泉、松山城、堀之内それから高浜近辺の瀬戸の美しさその四つぐらいしかないんです。私らの年寄りにとれば堀之内はさすががしい、いいところだと思います。建物が建つとうとうしくてかなわんです。あんだけ広い敷地をやられたことはすばらしいと思っております。だから、もう少し花を、色んな意味も根っこのことも聞きましたけども、やはりどこへ全国行っても自然の美しいものを残しているところが観光地の名所になっておると思っております。ぜひ堀之内をもう少し桜の花とか春夏秋冬の花も咲く名園にしていきたいと思っております。それが要望であります。そうすれば野志市長さんの名は死んではありませんけれども、豹は死して皮を留め人は死して名を留む、それから人の名は尽きることがない、そういう意味で野志市長さんの名は残ると思っております。だから、中国の仕立屋さんのようにあんまり前を長くならんようにぜひしていただきたいと思っております。

【市長】 はい、ありがとうございます。仕立て屋さんの話、私も聞いたことがあります。大丈夫ですよ、皆さんの声にきっちりと耳を傾けるのが野志スタイルでありますし、私は一市民からこの立場をいただいた人間なので、謙虚にと旨として進めていきたいと思っております。形は変わるかもしれませんが、私が市長をさせていただいてる間、こういう形のタウンミーティングを常に重ねていきたいと思っておりますので、自分の目が曇ることのないように、それをしっかりとやっていきたいと思っております。また、桜のことについては今、若木なので目立たないと思っておりますが、さまざま規制はあるんですけど市営プールの跡は大丈夫だそうです。市営プールの大丈夫な

ところはできるだけやっていきたいと思っていますので、若木ですからまだ目立たないかもしれませんが、どんどん成長してくると市営プールの跡のあたりは、きれいな桜になると思います。52万都市でまちのど真ん中にこんな広いきれいなところがあって、お父さんとお母さんがたこ揚げしているんですよ、そんなところなかなかないと思います。また、いざというときの緊急の避難場所にもなる場所なので、そういったところでもいかなと思っています。松山城のこれまでなかなか木を切るのが難しいという話、松山城の木もなかなか切ることにはできないんですけども、さりとて木がどんどん生い茂ってきて石垣を壊すところがあると、また消防車が入っていかないことでは困るので木を切るようにいたしました。後手にならないように、将来の世代にいい松山を残していく、そのつもりでやっています。ありがとうございます。

【女性】 城山公園の北西の隅でよくグラウンドゴルフをしてらっしゃるんですが、あれは市は許可してらっしゃるんでしょうか。

【都市政策課】 都市整備部都市政策課の松本と申します。城山公園は広場名をつけておりまして、市長が話した桜のところ、以前市営プールがあったところは「さくら広場」という名前をつけて整備しており、今言われた北の西は「ふれあい広場」という、いずれも都市整備部の公園緑地課が所管しておりまして、利用はルールを設けて利用できるようにしております。そういった利用のことは公園緑地課に問い合わせをしていただきましたら、例えばキャッチボールとかも柔らかいボールでとかそういうこともできますのでお問い合わせをいただいたらと思います。

【女性】 お世話になります。今日はいろいろ身になるお話を聞かせていただいて、どうもありがとうございました。今、木の根っこの話が出てきたので、仕事柄、私は農業にかかわっていますので、気になることがあったので話させてください。街路樹が一生懸命大きくなろうとしているんだけど、その根がやっぱりどんどん張って行って、それで道のところから街路樹の根と思うんやけど、レンガみたいになっている道路のところを上に出てきているんですよ。道を歩いていたら。それでこれは根が張っとなかなといつも気になりながら、それ調べてみたらいいんかなと思ったのでこの場を借りて言いました。すいません、見てください。お願いします。

【市長】 地図持って来ていますので、具体的な場所を教えてくださいらと思います。さっそく対応させていただきます。

【都市政策課長】 具体的な場所とか、この後地図で確認をさせていただいて、街路樹は道路管理課が所管しておりますので対応させていただきます。よろしく申し上げます。

人たちが、あの堀を埋め立てて商店街をつくる計画があったそうです。でも地元の人たちが一生懸命反対をして、岡井藤志郎さんをはじめとする色んな方々が交渉してくれて、お堀が埋められるのを食い止められました。松山城のお堀は宝だと思っています。私は「たからみがきのまちづくり」を進めていますけども、こういった岡井藤志郎さんなどが頑張っ、埋め立てられるのが防がれたんだよっていうのを説明する説明板をつくることができなと思ひます。以前は朝美に岡井藤志郎さんの顕彰碑があつたんですけど、今なくなつていますので、宝を知つていただく説明板をつくれればと思ひております。最後に館長さんからもお話出さしていただきましたが、実は国が1千兆円の借金を抱えているのはよく聞かれたことがあると思ひます。国から地方交付税交付金とか国庫支出金という形で地方にお金が配分されてくるんです。仕送りと同じです。大もとがしんどかつたら、仕送りがこれから増えるとはとても考えにくい。ですから、これからは限られた財政の中でやっていかなければならぬ。私もこつやっしてタウンミーティングに出さしていただいて、皆さんから「市長これやっしてよ、あれやっしてよ、これやっしてよ」つて言われるんですけど、私も人間ですから「わかりました、それやりましよう。わかりました、これやりましよう。わかりました、これやりましよう」つてやっしたほうが楽なんですけれども、それをやっしてしまうと将来の子どもの世代にツケを残すことになつてしまふんです。でも後手になつてはいけませんので、今、何をやらなければならぬのかをしっかりと判断さしていただくために、このタウンミーティングをまた重ねさしていただきたいと思ひます。お金がないといつて何もしないのではなくて、知恵と工夫でできることもあります。皆さんからご協力をいただいてできることもあると思ひますので、また今後ともよろしくお願ひいたします。最後に、愛媛マラソンが近づいてまいりました。味酒地区の方々には交通規制などでご迷惑をかけるのではないかなと思ひますが、どうぞご協力のほどよろしくお願ひいたします。私は、今年選手として出さしていただくことになつており、最初は走れるかもしれませんが、最後は味酒まで帰つてこれないかもしれませんので、もし見かけたらお声をかけていただいたらと思ひます。今日は長時間にわたりまして、貴重なご意見ありがとうございました。

— 了 —